

危険ドラッグに「NO！」

警視庁は、1～6月に危険ドラッグを所持・使用・譲渡・販売などの疑いで摘発した事件は128件で、25年1年間の125件を既に上回っていることを発表しました。このうち検挙状況から、乱用者の次の特徴が挙げられました。

▼20～30代が全体の約7割を占めている

▼約8割が薬物事犯の初犯者

▼約6割が街頭店舗、約2割がインターネットで入手している

安価で暴力団に関わらずに店舗などで入手出来ることから、これまで薬物事件と無縁だった世代が安易に手を出してしまうことで、多くの犠牲を招く社会問題に発展しているのが「危険ドラッグ」です。

危険ドラッグとは

「ハーブ」や「お香」等、植物片、粉末、液体の形状で用途を偽装して数多くの製品として出回っています。これらの製品は、多幸感を高めるもの等として販売されていますが、人に濫用させることが目的で、麻薬や覚せい剤同様の成分が含まれています。

心と体に及ぼす影響

薬物は、脳の中樞神経系に作用します。使用すると幻覚妄想、興奮状態、嘔吐、けいれん、精神錯乱などが現れ、呼吸困難を起し、死に至る場合もあります。また、危険ドラッグを使用した人が自動車やバイクを運転して交通事故を起こしたり、他人を傷つける事件の引き金にもなっています。

危険ドラッグの撲滅に向けて

4月1日から、薬事法の指定薬物の所持・使用・購入・譲り受けが禁止（3年以下の懲役または300万円以下の罰金）になりました。法による対策を推進する一方で、危険ドラッグを撲滅するためには、「売買や所持・使用を見逃さない、放置しない」という地域の目が大きな力になります。

家族や友人など、身近な人が危険ドラッグによる依存や健康被害を生じている場合は、罰することではなく、救うことを目的として、区が相談をお受けしています。一人で悩まずにご相談下さい。

5面の記事に関する相談・予約・申込み・問合せは、指定のあるもの以外は、**障害者福祉課** ところの健康相談係（区役所1階）へ
☎内線 2379 FAX (3802) 0819

こころの健康のための講演会・セミナー(無料)

「危険ドラッグ」にNO! ～ドラッグ乱用の実態と予防を考える

日時 10月11日(土) 午後6時30分～8時30分
会場 サンパール荒川
定員 100人(申し込み順)
講師 雷門メンタルクリニック精神科医・伊波真理雄氏、NPO法人東京ダルク精神保健福祉士・秋元恵一郎氏

ひきこもりとは～家族の関わり方とこころの持ち方

なぜひきこもるのか、その時の親の受け止め方と、家族や周囲の対応についてお話しします。
日時 10月15日(水) 午後2時～4時
会場 アクロスあらかわ
定員 30人(申し込み順)
講師 精神科医師・阿部哲夫氏

アルコール依存回復者からのメッセージ

直接会場へお越し下さい。
日時 10月5日(日) 午前10時～午後3時30分
会場 ムーブ町屋ムーブホール
対象 アルコール依存からの回復に関心のある方とその家族、医療・行政関係者等
後援 荒川区
主催・問合せ 特定非営利活動法人山谷マックデイケアセンターワン・ステップ
☎(6458)3232 FAX(3891)4336

発達障がい講演会

発達障がいの心に寄りそう関わりとは? 「のび太・ジャイアン症候群」の著者がお話しします。
日時 11月19日(水) 午前10時～正午
会場 ムーブ町屋ムーブホール
対象 区内在住・在勤の方、250人(申し込み順)
講師 発達障害専門クリニック院長・医学博士・司馬理英子氏
申込み・問合せ 荒川たんぼぼセンター
☎(3891)6825 FAX(3807)8483

区への取り組み

●薬物で困っている方の相談 障害者福祉課では、医師・薬物依存の回復者・保健師による個別相談を予約制で行っています。相談は無料で、秘密は厳守します。
●小・中学校への薬物乱用防止教育 心身への影響の説明や、薬物依存回復者の体験談から、「日頃から身近に相談出来る人をつくらう」というメッセージを伝えていきます。
●中学生による薬物乱用防止ポスター・標語の募集 東京都薬物乱用防止推進荒川区協議会では、9月に区立中学校を通じて、中学生の薬物乱用防止ポスターと標語を募集し、啓発に努めています(左図)。

9月は東京都の自殺対策強化月間

見逃さないで自殺のサイン

24年から全国の自殺者数は、15年ぶりに3万人を下回りました。しかしながら、交通事故死者数の6倍以上の方が未だ自殺により命を落としています。
●自殺を防ぐために 自殺を考えるまで追い詰められている人は、経済・生活問題、健康問題、家庭問題などのさまざまな悩みが重なり、こころの病の兆候や、生活の様子が変わるなどのサインを発していることが多くあります。サインに気付いたら、じっくりと話を聞いたり、医療機関の受診を勧めるなど、相談窓口へつなげることが大切です。

●かけがえない命をみんなで守るために、こころの健康について知ろう
●図書・ポスター等の掲示
▼尾久図書館：9月12日(金) 10月8日(水)
▼日暮里図書館：9月19日(金) 10月15日(水)
▼町屋図書館：9月19日(金) 10月15日(水)

●一人でも悩まずに相談して下さい 障害者福祉課では、精神科専門医によるこころの健康相談等を予約制で行っています。また、保健師による相談は、随時受け付けています。相談は無料で、秘密は厳守します。
■荒川区こころと命の相談電話
日時 祝日等を除く月～金曜日の午前8時～午後5時
☎070(6648)8318

こんな症状ありませんか?

- 夜眠れない。寝ても熟睡出来ない
- 食欲が無く、体重が急に減った
- 今まで好きだったことに興味が持てない
- 飲酒量が増えた
- 自分なんかいない方が良いと思う
- 死んでしまいたいと思う

一人で悩まずに相談して下さい

東京都薬物乱用防止推進荒川区協議会

25年度地区区会長賞

ポスターの部



諏訪台中学校・白鳥舞さんの作品



第五中学校・小山若那さんの作品

薬物で あなたの未来 消さないで 家族や友達 皆悲しむ

一度だけ それは危険な好奇心 やれば止まらぬ それが薬物

白い粉 君の心を 黒くする

(南千住第二中学校・原田和明さんの作品)

標語の部

(原中学校・石田萌さんの作品)

(尾久八幡中学校・鈴木杏奈さんの作品)

ひきこもりでお悩みの方へ

ひきこもりとは、自宅以外での生活の場が長期に渡って失われている状態のことを言います。

●ひきこもりの状態は、「甘えてひきこもりの状態は、「甘えて

いる」「怠けている」など、薬を

が、本人は社会と関われないこと

焦らずに出来ることから人との関係を回復し、自信を取り戻すことが大切です。

ひきこもりの要因

●病気の発達の遅れがある場合は、病気の見極めが大切です。一方で、病気ではなく生活のしづらさや挫折感を伴う体験や心的外傷からひきこもることもあります。

家族のこころの健康

●家族が疲れ、抑うつ状態や不眠になる場合があります。一人で抱えずに、支援者や相談機関を見つ

ひきこもり心理相談

区では、ひきこもりの個別相談を予約制で行っています。本人の状態に合った対応を考えます。

ひきこもり家族教室

●思春期・青年期のひきこもりの家族の方が悩みを解決し、元気になるための教室です。ひきこもりの方への対応に工夫している点や、困っていることなど、臨床心理士を交えて一緒に話し合います。教室参加には保健師と事前に相談が必要です。秘密は厳守します。